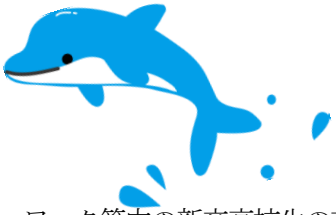
進 路 だ よ り

第３号　平成２９年８月２８日
福島県立郡山商業高等学校進路指導部

勝負の時です。

今年の夏休みはどんな夏休みでしたか？３年生はいよいよ、これから受験を迎えます。授業・部活・実習など、あらゆることから身につけたことをすべて発揮して、望む結果を勝ち取ってください。また、１・２年生はそんな３年生の姿を見聞きし、将来を見据えて行動しましょう。資格取得に励んだり、情報を集めたり、来たるべき時に備えて地道な努力を重ねてください。その努力はみなさんの武器に、そして自信になってくれます。



今年度の就職傾向・進学傾向

◎就職

今年度の３年生の就職希望者は公務員を含め約１５０名となっております。郡山ハローワーク管内の新卒高校生の就職希望者数は約８００名で就職希望者のほとんどが郡山市内及び郡山市周辺の事業所への就職を希望しております。今年度も厳しい就職戦線であることは間違いありません。進路指導部では県内事業所の求人を約３００件紹介しております。業種別にみると、地域の特性を反映した製造業、卸小売業、サービス業が多い傾向があります。職種別にみると、それぞれの事業所の就労者数の割合から製造業の現業職や卸小売の販売職・製品管理が多く、その反面いずれの事業所においても事務職の求人数は伸び悩んでいます。現在３年生は、応募前の職場見学を終了して「就職希望申込書」を提出し、校内選考会において推薦される事業所が決定いたしました。現在、事業所に提出する履歴書の作成に取り組んでいるところです。今後は、９月に実施される就職試験にそなえ基礎的な学力の見直しと、コミュニケーション能力が問われる面接試験にむけて十分な準備と練習が必要となります。進路実現にむけてベストを尽くしましょう。

◎進学

今年度も、進学希望者の多くが、指定校・公募など推薦入試や、AO での受験を希望しています。推薦入試では、面接や小論文試験を通して、明確な目的意識や、希望分野に関する諸問題への興味・関心、また基礎学力の有無等が問われます。これらは短期間ですぐに身につくものではありません。日頃から向上心を持って意欲的に勉学に励みましょう。

＊今年度指定校推薦で受験できる、主な上級学校

大学

東北学院大学（経済、等）、郡山女子大学（家政）、日本大学（工、商）、國學院大學（経済）、駒澤大学（経済）、
東京経済大学（経済、等）、専修大学（商）、文教大学（経営、等）、神奈川大学（経済、等）・・他

短期大学

会津大学短期大学部（産業情報）、郡山女子大学短期大学部（幼児教育、等）、桜の聖母短期大学（キャリア教、等）
福島学院大学短期大学部（情報ビジネス、等）、青山学院女子短期大学（現代教養）・・他

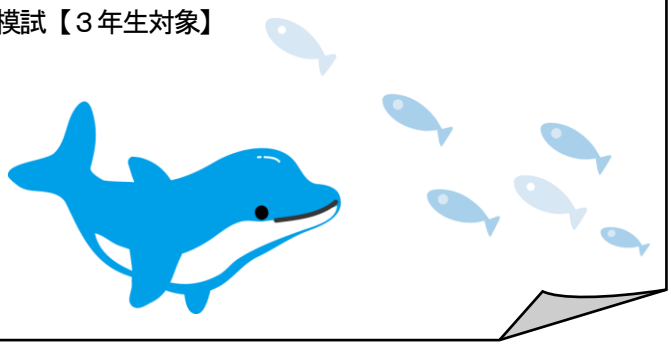
専門学校

太田看護学校、郡山健康科学専門学校、国際医療看護福祉大学校、国際ビジネス公務員大学校、
仙台大原簿記情報公務員専門学校、日本電子専門学校、日本ホテルスクール・・他

その他入試情報の詳細を知りたい場合は、「進路の手引き」を読んだり、進路指導部に質問・確認したりしてください。

今後の予定

９月	２日（土）	進路模試【２年生・３年生対象】　看護模試【３年生対象】
	９日（土）	全商英語検定
	16 日（土）	就職試験開始
	20 日（水）	小論文ガイダンス
	24 日（日）	全商情報処理検定
10 月	２日（月）	Ⅱ期小論文指導・進学面接指導開始
	８日（日）	STEP 英検１次
	10 日（火）	中間考査（～13 日（金））



オープンキャンパスに参加しました！

8/4(土)・5(日)、希望者50名ほどが、福島大学・専修大学のオープンキャンパスに参加してきました。キャンパスツアー、研究室紹介、サークル見学、個別相談などを通して、大学の雰囲気や情報をたくさん吸収してきたようです。

専修大学

参加企画・イベント

・学部説明会(各学部・学科の説明/会社での経営戦略/資格取得の講座説明　など)
・模擬講義(「商品開発とアイデア発想法」/「会計学の手始め」/「マーケティングとイノベーション」など)

感想

・商業部の模擬講義を受けた。高校で今学んでいることは大学の講義でも通用する点が多く、無駄ではないのだと感じた。個別相談では、受験内容等、詳しく教えていただいた。(３年)
・英語英米学科での模擬講座の中で『美女と野獣』実写版の劇中歌のシーンを観ました。この映画からアメリカの文化や社会を学ぶという講座でした。この作品の原型となっているコクトー版からアニメ化、実写化に至るまでの背景などを学びました。こうした作品を通して学べるというのがとても興味深かったです。(３年)
・大学の模擬講座を受け、大学では講座がどのように行われているのか体験できた。模擬講座の最初に会計学科の履修モデルのおおまかな説明があり、どのように講座を選択するのかというイメージが持てた。(３年)
・大学生の方たちは、一人一人、自ら勉強しようという意識が高く、とても生き生きとしていました。大学生の方からもいくつかのお話を聞くことができたので、より身近に感じることができました。(２年)
・１年次からしっかり基礎を固めることで、経営に関する内容をより深く理解できる。ゼミナールを行っているので、発表・発展する力、提案する力を身につけることができ、社会に役立てることができると思った。(２年)
・透過ディスプレイのプレゼンテーションをしていただき、大学でどんなことをするのか少しだけ知ることができました。同じ商業科でも、高校と違って細かく分野分けされた学科で、より専門的に学習できるということを知り、将来自分がなりたい職業に合わせて学科を選ばなくてはならないと改めて思いました。(１年)

福島大学

参加企画・イベント

・学類説明会(福島大学の歴史/4本の柱/特色/就職状況/入試ガイドの説明　など)
・模擬講義(「地域を元気にする公共デザイン」/「比較の中の日本国憲法」/「最近の経済･社会問題が次世代に与える影響」など)
・学生企画(しくじり先輩/Sunshine箱崎の大学生活/ＣＯＣ企業とは/教養実習　など)

感想

・学生が自主的に計画し、行動していかなくては何も学べず、何も楽しむことができないということを知りました。大学では自主性がなければやっていけないと、危機感を抱きました。(２年)
・敷地がとても広く、施設も充実していた。講義をしている先生もとてもおもしろい人がいて楽しかった。(１年)
・講義を受ける前は、福島大学の経済経営学類に進学して会計を極めようと、具体的に考えていたつもりでした。しかし、実際に講義を受けてみると、専攻は３つもあり、さらに細かく分類されていることがわかりました。商業高校で学んだ知識や技術や資格がある学生向けの特別カリキュラムも設定されており、現役会計士・税理士の方の講義も受けられるなど、詳しい情報を知りました。進路実現に向けて、生かしていこうと思います。(１年)
・付属図書館で募集要項と過去問を受け取ってきました。付属図書館は東北で２番目に蔵書量が多いそうで、本の種類だけでなく、勉強できる環境やスペースも十分にありました。(３年)
・小論文の過去問は経済・経営関連の出題が多く、経済について学んでいくべきだと思った。経済経営学類は外国語にも力を入れていて、公務員や地元金融機関への就職に強い。(２年)
・学類説明会や個別相談を聞いたことによって、自分が福島大学に入学してからどのようなことを学びたいかということが明確になりました。また、在学生の方と話をして、入試対策の勉強方法や大学生活のことも聞くことができました。さらに、講義やキャンパスツアーに参加して、授業の雰囲気や大学の雰囲気を感じることができ、とても充実したオープンキャンパスになりました。(３年)